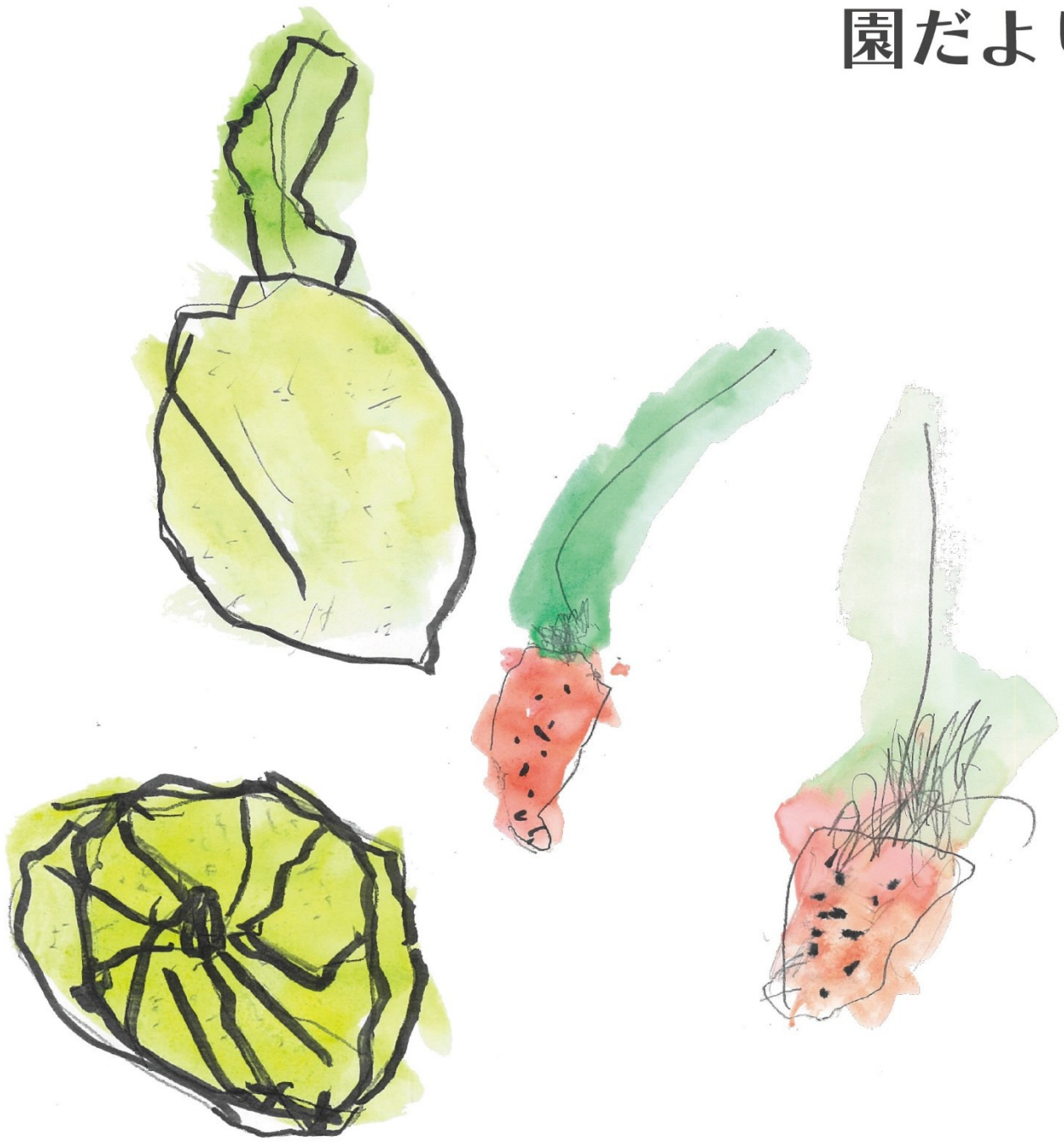


園だより



ArteKodomotoKi

7 2025

社会福祉法人 種の会
幼保連携型認定こども園
アルテ子どもと木幼保園
〒164-0001 中野区中野1-59-5
Tel 03-3365-0602



ホームページ



Instagram

お知らせ

- 給食の食材発注数管理のため、夏休みの予定（7月～9月）を電子連絡帳にて担任にお知らせください。1号認定児は8月1日から31日までは夏休みとなりますので登園する予定がある日がありましたら、電子連絡帳にてお知らせください。
- 水遊び（全クラス）・プール遊び（2歳～5歳）が始まります。詳細をメールしましたので、よく読んで忘れ物のないようお願い致します。
- 幼児クラス（3～5歳クラス）は水泳帽子を着用します。自分で髪の毛を中にしまえるよう、髪の毛の長いお子さんは必ずご家庭から結んで登園して下さい。髪ゴムは飾りのないシンプルなものでお願いします。
- 1日（火）にプール開きを行います。プール遊び実施期間中の木曜日はコスモスポーツクラブの梶原先生が指導します。
- 第三者評価へのご回答ありがとうございました。訪問調査を受けて結果を福祉ナビゲーションにて公表させていただきます。ご意見や改善点に関しては検討事項として対応させていただきます。

July 7 2025						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1 プール開き	2 0歳児健診	3 運動あそび (プール) 5歳フラネタリウム	4	5
6	7 七夕	8 音楽あそび 発育測定	9 0歳児健診	10 運動あそび 地域サーキット	11	12
13	14 音楽あそび 園児学会	15	16 地域ランチ	17 運動あそび (プール)	18 避難訓練	19
20	21 海の日	22 音楽あそび	23	24 運動あそび (プール)	25 誕生会	26
27	28 音楽あそび	29	30	31 運動あそび (プール)		

※地域サーキット、園児学相談会、ベビーマッサージ、地域ランチは地域にお住まいのご家族への子育て支援として開催しています。

※今月の園だよりのテーマ：水遊びなど、この季節ならではのエピソード

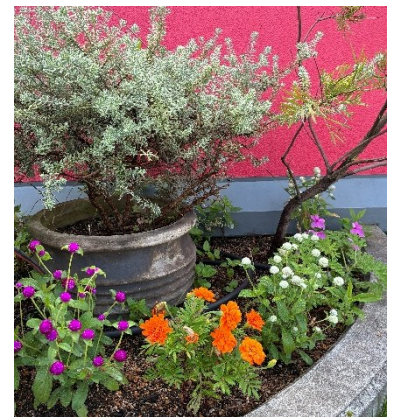


ファミリーデーのワークショップで植えていただいた様々な色の花が園庭を彩っています。園見学の希望者が多く、ご案内すると緑豊かな屋上園庭に皆さん驚かれ、自然の恵みを感じられるようです。ビワやイチジクなど夏に向けて実る果実は、鳥が食べごろを知っていて朝一番にやって来ます。甘さが一番のぶどうの実、少しずつ大きくなり色づきがとても楽しみです。

夏は、屋上にプールを設置して水に親しみますが、ここ数年は暑さ指数が高くプール遊びができない日も多くなっています。自然環境の厳しさを実感しますが、夏ならではの体験ができるよう工夫し、健康で楽しい夏を過ごしていきたいと思っています。

園長 山田寿江

入園数か月で戸惑う方もおられたかと思いますが、保護者の皆様には、第三者評価の Web アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。93%と高い回答率で、総合的に 97.9%の方にとっても満足・満足と回答いただきました。自由記載も貴重なご意見をたくさんご記入下さり感謝いたします。「いつも笑顔で挨拶してくれて、園の雰囲気がとても良い」という一方で「挨拶が減ったと思います」というご意見もありました。真摯に受け止め、改善に努めてまいります。訪問調査を受けて結果が公表されます。より良い園づくり目指し、職員全員で取り組んでいきますので、引き続きよろしくお願いいたします。



これからの時代に必要な学び ～中野区保幼小連絡協議会開催から～

園の保育者と小学校教諭、中学校校長とでグループディスカッションを行いました。子どもの「不思議」「面白い」から「やりたい」を展開する乳幼児の実践は、主体的で対話的な深い学びです。中学校では、生徒に行事を委ねて任せるなど主体性を尊重した学びが主流になっているとのこと。小学校教師からは、時間的制約のある中で生徒主体の学習には難しさがあると話していましたが、1年生の公開授業で、先生の話聞き、自ら考え、友だちと意見を交わし、発表する手法では、児童がいきいきと学んでいました。少子高齢化、グローバル化が進む社会で、「主体的・協同的に課題を発見し解決する力」が求められ、ICT 教育ではコミュニケーションが重要視されています。

8月30日に開催される「こども探求のシンポジウム」では、園の実践を発表させていただく機会もあります。これからの時代に必要な学びとしての子どもの今を大切に、遊びや体験から非認知能力を育み、生きる力を養っていききたいと考えています。

「これは〇〇のものだけじゃないの」～子育てを分かち合う関係～

野菜を握りしめて離さない2歳児さんへおばあちゃんが「みんなのもの」と諭しますが、不満げに首を横に振ります。そこへ「あらどうしたの～」と担任がやって来て、おばあちゃんが「頑なで…」と呟くと「ですって!」と顔を見合わせ、思わず笑顔がこぼれます。「うちもそうでした～」と他の保護者が会話に加わり、成長の通過点であることを思い出させてくれます。

ファミリーデーなどを通して、保護者の方同士の会話が増えたようです。何気ない子育て経験の分かち合いが、育児の大変さを和らげてくれるのかもしれない。

仲間の存在

主幹教諭：中村

4歳児クラスがクッキー作りを行いました。1グループ5人程の友達がいる中、材料を一つずつ入れていきます。

「ぼくが入れるよ」「わたしもやりたい」と、誰が何を入れるか言い合う様子。「半分入れたら次は〇〇くんね」と、順番を決める様子と、言葉による伝達や対話の必要性が増大します。

あるグループでは、レーズンを入れる際「一つ入れたら次の友達ね」と、一粒ずつ入れている姿も見られました。

集団活動の中で話し合いを繰り返しながら、自分の思いや考えを伝える力や、相手の話を聞く力を身に付けていきます。

主張のぶつかり合いが起きても、すぐに大人に頼らず自分たちで解決しようとする姿が見られるようになります。

園では保育者がすぐに仲介するのではなく、話し合っている時は見守り、終わってから聞くなどしています。

こういった経験から、それぞれの子どもの役割に変化や発展がみられるなど、集団としての機能が高まっています。

園での集団活動で、たくさんの経験が出来るといいなと思います。



先生達のワクワク

主幹教諭：黒木

先生達は、子ども達が喜びながら豊かな経験が出来るようにと、どのような環境をつくるかを事前に考え準備をします。1歳の中野先生は、テーブルや棚に登ろうとする子ども達の姿を見て、子ども達の“高いところに登りたい”を“安全な場所で思いっきりやらせてあげたい”と考えました。サーキットで高いから低い動きが十分に出来るように組み方を考え試行錯誤しています。2歳の森畠先生は、日ごろからお花で遊んでいる子ども達の姿から、お花を水の上に浮かべてみたら、どんな発見があるだろうと準備をしました。水に浮かんだインパチェンスの花を指さして「大きくなった！大きくなった！」とAさんが言います。どうやら春からずっと育ててきたビオラの花（小花）が、大人になってインパチェンスの花になったと思ったようです。ビオラには「赤ちゃん」と優しく話しかけながら遊んでいたとのこと。

先生達が子ども達の興味や関心をとらえて、遊びを広げ一緒に楽しむ姿に私もワクワクしています。



表紙の絵

表紙の絵は4歳ナノ組のせつなさんが描きました。“すっぱいものって何だろう？”という会話の中から生まれたテーマに、すっぱいものをじーっと考えてから、「レモンとイチゴ！あと、梅干しも酸っぱいんだよ！」と言い、お口をすっぱくさせて描きました。

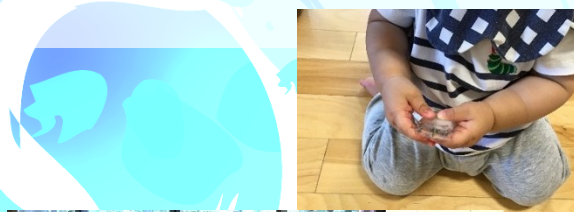
AtoO



紫陽花に触れたり、鳴き声のような音のするカエルの玩具で遊んだり、室内でも梅雨ならではの遊びをしています。じめじめして、夏に向けて気温が高くなるこの時期……。少しでも暑さを和らげるような遊びの様子をお届けします。

こおり

気温が高かったとある日。氷を出していると、子どもたちの方から近づいてきて手を伸ばします。子どもたちにとっては手のひらと同じくらいの氷をつるつると何度もすべらせながら一生懸命につかもうとしていました。冷たかったのか氷をすぐに離して手をばちばちさせるAさんや、氷を別の容器に移し替えるのを楽しむMさん。また、Aくんは氷を両手でもち、だんだんと解けた水が気になりはじめ、お水を触ったり、身をのりだしてプールのように入ろうとしたり……。「氷が溶けてお水になったね〜」「なんで氷なくなっちゃったんだろう？」と、冷たい氷を触って涼みながら保育者と一緒に氷の不思議にも触れました。



この冷たいの何だろう？

子どもたちは様々な素材に興味があり、最近は感触遊びに夢中です。暑くなってきた時期にぴったりの保冷剤を出してみました。

すると、Sくんがもっていた保冷剤を見て、“何かいいのもってる！”とAくんが保冷剤を指でつつき始めました。また、あまりの気持ちよさに口に入れようとするYくんやMくんの姿も。「ごめんね、お口に入れないでねー。」と声をかけて保冷剤を片付けようとする、2人とも泣き出して“もっと触りたい”とアピールしていました。



Ato1

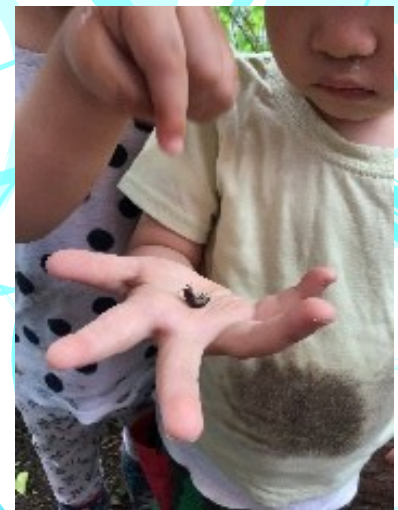
雨上がりの園庭には、なにがいるかな？

じめじめした季節、土もじめじめしています。子ども達が「いた！」「見てー」と指をさして見ていたのはダンゴムシです。園庭の花壇に大きいのがいました。あっちへこっちへ動いている様子をじっと見つめていたのはＹ君とＭ君です。しばらくするとＹ君が「怖い……」と後ずさりします。そのうち子ども達が集まってきました。



おててに乗った！

地面を歩いていたダンゴムシに触っていたＨ君に「おててに乗せてみる？」ときくと「うん」と言って乗せました。手のひらに転がると、コロソッと手の上で丸くなりました。「あ！」とびっくりするＹ君。もぞもぞ動き出してお散歩するダンゴムシを、Ｍ君がさっきより近い距離で見つめます。



ちょっと怖いけど、僕も乗せてみたいな……

見たいけど、見たくない……見たくないけど気になってくる……ずっとそんな様子のＹ君でした。「Ｙ君もおててに乗せる？」ときくと、はじめは「やー」と言って嫌がっていたのですが、他の友達の手に乗っているのを見てやってみたくになりました。

Ｈ君の手からＹ君の手へダンゴムシがころりと転がりました。両手で落とさないように、そうっと持っていました。それをまた他の友達が見ていて、順番にダンゴムシを手に乗せていきました。

虫との触れ合いが、友達との関わりも生んでくれました。

Píco2

失敗

毎朝のフラワータイムで一人の子と花の水やり。とは言え「行きたい！行きたい！」の声に、保育者の思いや順番や約束を伝えています。しぶしぶ待っていてお部屋では、小瓶に生けます。5 つ程の小瓶にここでも「やりたい！やりたい！」の声。我先にと片手で勢いよく小瓶を奪った Y ちゃん。勢い余って床へ転がる小瓶に「こぼれたー」とムスッと。みんなも注目！その姿にすぐに雑巾で拭いてあげるでもなく「こぼれたらどうしようか？」と尋ねると更に口を尖らせだんまり……。でも『Y ちゃんは、マズイとわかっているし拭くことも出来るはず』と信じて無言でグッと我慢！その間に友達は、お花を貰っています。暫くしてやっと「拭くっ！」と語尾を強めた Y ちゃんの声。上手いかなかった自分と楽しそうな友達の姿に悔しかったことでしょう。倒れた小瓶を自分で起こしテーブルの下に潜り懸命に拭きました。拭いた雑巾を手渡す Y ちゃんに「ありがとう。さあ、やろう！」と声を掛けました。失敗から自分で沢山感じて学び、小さくても責任をとる姿に『いい経験をしたね』と心で拍手を送りました。それから両手で小瓶をそっと持つ Y ちゃん。時には「ふたつの手で持つんだよ！」と友達に諭すように伝えてくれています。失敗に向き合う子どもの達の姿こそ丁寧に応援していきたいです。先日のファミリーデーで植えて頂いたお花もこうして子ども達と一緒に元気に咲き誇っています。



連想ゲーム？！

雨あがりのテラスに魅力的な水たまり。筆・刷毛・スポンジ・ローラーを用意して A ちゃん、B ちゃんとのひと時。スポンジを片手に A ちゃん「雑巾！」と左右に手を動かす姿。どうやら掃除に使う物と捉えて、知っている言葉で伝えようとしたようです。さらに、保育者がスポンジの反対側の凹凸面を見せると、凹凸を指さした「雑巾、ココ！」と自分の背中に両手を回して。次はまたもや自分の体を使いスポンジの表裏を伝えようと。

保育者が描いた線が太陽に照らされ消えて行く様子に「なんで消えるんだろうね？」と尋ねると B ちゃん「大丈夫！B ちゃんがすぐ戻してあげる。だから、大丈夫だよ！」と消えた部分を必死に繋いで『困ってる先生を助けなきゃ！』といった様子。— A ちゃん「でんき〜！」と言いながら描いてあったローラーの跡に乾いた刷毛を左右にこすり付け「消えた〜！」と。その行動は？？『なんで消えるんだろうね？』の質問の『消える』から A ちゃんは『電気』をイメージして消して遊び始めたのです。次々と予想外の展開を繰り広げる二人に連想ゲームを試されているな楽しいひと時でした。

Nano3

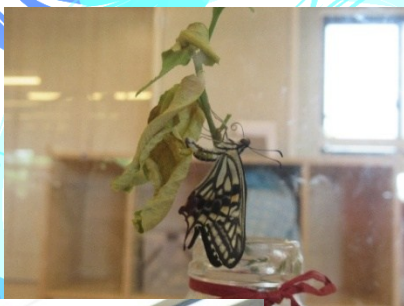
今月の歌

今月の歌であるニャニュニョのてんきよほうとカエルの合唱が3歳クラスでブームになっています。ニャニュニョのてんきよほうは、猫のしぐさから天気を予想する遊び歌で、歌いながら子ども達は楽しく天気を学ぶことができます。歌詞に合わせて猫の物まねをして明るく覚えやすいリズム感のあるメロディを口ずさんでいます。誰かが「ねね猫がね」と歌い出すと周りの友達も歌い出して大合唱が始まります。カエルの合唱は歌うだけでなく耳に手を当ててカエルの合唱を聞くポーズで踊りながら歌ったり、カエルになりきったりしながらピアノのテンポに合わせてジャンプをして遊びます。綺麗な歌声が響く3歳ナノ組さんでした！



アゲハ蝶

4月から育てていたアゲハ蝶の幼虫がついに成虫になりました！アゲハ蝶の羽を見て子ども達が「きれい」「カッコいい」とすぐに興味津々。保育者がアゲハ蝶の絵を描いてみるか聞くと「描きたい」とアゲハ蝶を観察しながらアゲハ蝶を描きました。よく観察して羽の模様注目しながら描く子、アゲハ蝶の全体をとらえながら描く子、様々な色を使って思い思いのアゲハ蝶を描いていました。Aちゃんが「アゲハ蝶さん狭い場所がかっこいいんだよ」と教えてくれたので3歳さんみんなでアゲハ蝶を見送る事にしました。空へ飛び立つアゲハ蝶に向かって「またね」と手を振って別れを告げました！次の出会いが楽しみです！



Nano4

どうしてかなあ

5月の初めのころにテラスでヒマワリを植えました。梅雨の時期に入り、気温も高く、屋外に出ることが少ないこの頃ですが、3人の子供達と一緒にテラスでヒマワリの観察をすることにしました。ヒマワリの成長はとても早く、以前の面影がありませんでした。「これだっけ?」、「あれかな?」とどれがヒマワリかわからなくなっている様子でした。「これだよ、こんなに大きくなってんだよ」とヒマワリのプランターを教えるとAさんは「前と全然違う!」、Bさんは「大きくなって分らなかった」と不思議そうに、でも嬉しそうに言っていました。ヒマワリのプランターが分かり、観察を始めるといろいろと気付いたことを教えてくれました。プランターをよく見ていたAさんが「なんか種が出てきちゃってるよ」と指をさしながら一言。少し考え込むとBさんが「水を入れすぎて飛び出ちゃったんじゃない」Cさんは「芽が出てきた時に一緒に出たのかも」としっかりと分析して真剣に話していました。しっかりと考え込んで可能性のあることを思いついていたことにとても驚いたのと同時に難しいことを思いつくようになったのだと感心しました。



ヒマワリとアオムシ

別の日に他の子ども達とヒマワリの観察に行くとDさんが「この前もヒマワリしたよね」とEさん、Fさんに言っていました。保育者が「この前っていつやったの?」と聞いてみると3歳さんの時と教えてくれました。「アオムシが来ちゃった」「アオムシに葉っぱ食べられちゃって嫌だったの」「アオムシがいやだった」と3人ともアオムシの苦い思い出を話してくれました。「そんなにアオムシが嫌だったんだね」と反応すると「もうやだった」、「絶対に来ないでほしい」と言います。この前まで育てていたアオムシのことはとても可愛がっていたのに酷い嫌がり方でした。去年の話を聞けたところで今年のヒマワリはどうなってほしいか尋ねてみると、「早く咲いて黄色いヒマワリがみたい!」、「大きくなって咲いてほしい」、Eさんが「早く咲いてほしいけどアオムシに来てほしくない」と最後に言う「アオムシやだ」と3人声をそろえて言いました。いま観察していることについて話す子もいれば、去年育てたヒマワリについて思い出す子もいて、子ども達それぞれの発言が楽しかったヒマワリ観察でした。

Nano5



命って

グループ活動の日に、散歩に行ったグループと、屋上園庭で遊んでいた子ども達がバケツと虫かごにたくさんのダンゴムシを拾ってきました。虫かごの中に入ったダンゴムシを見せながら「飼いたい!」「先生!5歳で飼っていい?」とキラキラした目で聞いてきます。「飼っても良いけど、5歳さんでお世話できる?」と聞き返すと満面の笑みで「出来るよ!」と答えました。そこから2~3日は虫かごから出して手で触ってみたり虫かごの中にいるダンゴムシを覗いてみたりしていました。

そして土日を含んだ月曜日。子ども達が虫かごを覗くと、ダンゴムシは動かなくなっていました。「先生、動かなくなっちゃったんだけど」「まだ寝ているの?」と子ども達は口々に話していました。その日のお集りでダンゴムシが亡くなってしまった事を伝えるとS君が「土に埋めてあげようよ。そしたら天国に行けるからさ!」と言いました。

どこの土にするのか子ども達同士で話し始めました。「下の園庭の土は?」「小さい子が掘っちゃうよ」「じゃあ、屋上は?」「誰も掘らない場所ならいいかな?」と屋上の奥の方の土に埋めてあげる事にしました。みんなで埋めた後、Sさんが「土の中に埋めたら手を合わせてお祈りすると天国にいけるんだって」と言うとみんな手を合わせてダンゴムシとお別れをしていました。生き物の「命」について考える機会になったのではないかと感じました。



〜収獲した数〜

5歳の子ども達が育てたジャガイモを収獲しました!とてもたくさん採れたので2つのグループに分かれて、全部でいくつあるか数えてみる事にしました。片方のグループは9人が丸くなって座り、ひとり1つずつジャガイモを持ってきては座り、9番目の人が取りに行ったら1番目の人に戻るという数え方を考えました。「9+9+9ってやっていけばいいよね!」数えた合計は42個でした。もう片方のグループは、ひとりがたくさんのジャガイモを持って、グループの子に配っていき、配られた子がそれぞれ数えて、最後に合算していくという方法でした。こちらのグループは89個のジャガイモを数えました。まだ小学校に通っていない為、足し算などは教わってませんが、子ども達同士で話し合い、数え方を考える姿がとても素晴らしいなと感じた一場面でした。





「もうやりたくない」という気持ち

新年度から始動した新メンバーによるケーキプロジェクトも6月がファイナル。

6月のケーキについて話し合う前に、4月、5月のプロジェクトを振り返っての気持ちを訊ねてみました。すると「さびしい。もっと作りたい」という声に続いて「もうやりたくない」という言葉が出てきました。その意見に頷く姿もありました。「だって、ゲームがしたいもん」と理由を教えてくださいました。はたして、「やりたくない」理由はそれだけなのでしょうか？



その月のケーキを完成させるまでには、みんなで5～6回集まることになります。そのうち、子ども達が楽しみにしている、ケーキを飾るパーツを作るのは2回程度。どんなケーキにするのか意見を出し合い、それをもとにイメージ画を描き、仲間にプレゼン。話し合ってイメージをまとめ、作る分担を決めて、ようやくケーキ作りにとりかかることができるのです。ケーキの方向性が決まるまで、ほとんどの時間を話し合いに費やすことになり、自分のアイデアがすべて通ることもありません。その中で「おもしろくない気持ち」が湧いてくるのもわからなくはありません。

「やりたくない時は、アトリエに来なくてもいいんだよ」と声をかけましたが、その後も5人はアトリエにやって来ました。「おもしろくない気持ち」と向き合いながら、自分の中で折り合いをつけていたのでしょうか。

みんなで一つのものを作り上げるには、楽しいことばかりではなく、時には主張し、時には譲って……ということを繰り返し体験したからこそその「もうやりたくない」という気持ちだったのかもしれませんが。

完成させた時の「やっぱり楽しかった」という言葉や、みんなに披露した時の「嬉しい気持ち」が子ども達の自信となり、今後の成長の一助になることを祈ります。

6月のケーキプロジェクトの詳細は、ぜひドキュメンテーションをご覧ください。



ほけんだより

子ども達は生まれたときから家族や保育者などから大切にされる経験をする中で「自分の体は大切」という意識を育んでいきます。幼児期には「大切な体を自分で守る」という意識を育くめるように、園ではプール開き前に「プライベートゾーン」の話をしています。「プライベートゾーンって?」「保育園では早くない?」「どんな話をしたらいいの?」等と、様々な思いを抱かれる保護者の方もいらっしゃるのではないでしょうか。プライベートゾーンとは「自分だけが見たり、触ったりしていい体の中の特別なところ」と伝えていきます。今年の指導では、3歳児には「シャワーをする時の約束事」を、4歳児には「大切にするための約束事」を伝え、5歳には「大切にするための約束事」を考えてもらいました。

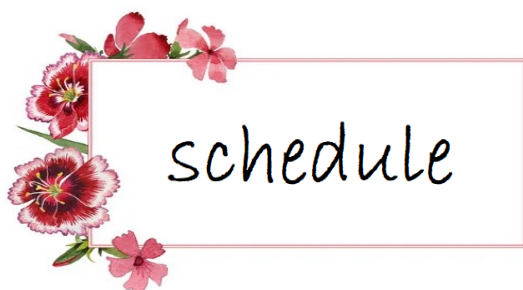
- 1つ目：トイレは一人で行く。友達が入っているのは見てはいけない。
- 2つ目：人に見せたり触らせない。見せて等と言われたら「いや!だめ!」と言い、逃げる。
- 3つ目：いつまでも裸でいないで洋服を着て守る。なかなか着ないお友達には注意をする。
- 4つ目：友達、親、先生等の他の人のプライベートゾーンも大切にする。
勝手に見たり、触らない。



この話をする中でCちゃんから「わたしは、誰に触ってもらってもいいの」と、伝えられました。その話を聞いて、保護者の方から沢山の愛情受けて育ってきたんだなと思った反面、触られることに抵抗のない子どもに伝えていく難しさを感じました。女の子と男の子の体の違い、トイレの仕方の違いなど体に興味を持ち始めたときがプライベートゾーンの話をする良いタイミングと言われています。是非、ご自宅でお子さんと話をしてみてください。悩んだときは、一緒に考えていきましょう。



1歳2歳にも歯磨き指導をしました。ぬいぐるみのパペットと一緒に聞こうと言われると、みんな最後まで静かに聞いていました。口を開ける練習では、なかなか開けない子ども達も、ぬいぐるみに「見せて」と声を掛けられると大きく口を開けていました。



発育測定	7月 8日(火)
0歳児健診	7月 1日(水)
	7月 9日(水)
保健指導予定	熱中症について



食育だより

We want to cook delicious food



気持ちよく晴れわたった暑い日が続き、本格的な夏もすぐそこまで来ているようです。給食では夏野菜をたっぷり取り入れた旬の食事を提供します。笑顔でしっかりと食べて、睡眠をとって元気に夏を楽しみましょう。

🍎 6月の食育活動

★ 3歳 ゼリーの型抜き ★

おやつのゼリーを好きな型を使って型抜きをしました。

最初は戸惑っていた子も、食べるのも忘れて夢中になって型抜きをしていました。

「見て、ハートだよ」と大きなハートを見せてくれた子も。ハートや星、恐竜やお魚、色々なゼリーをみんなでぱくり、「おいしー!!」楽しくておいしいゼリーをみんなで食べました。



🍪 4歳 クッキーづくり 🍪

4歳さんはみんなで小麦粉をこねこねして生地をつって手でコロコロ丸めてクッキーをつくりました。大きなクッキー、小さなクッキー様々な形のクッキーができました。薄いクッキーはサクサク、大きくて厚めのクッキーは少々固め。

「ちょっと固いけど、歯が強いから大丈夫」とザクザククッキーを頬張る子も。

クッキーはあっという間になくなりました。

簡単で、美味しくて、楽しくできるクッキー、おすすめです。



🍰 5歳 カップケーキづくり 🍰

2回目の包丁。

バナナを切りました。みんな少し包丁になれてきたようです。

生地を作って、カップにいれて、切ったバナナをの

せてオープンへ。焼き上がったケーキにホイップクリームをのせていただきます。おかわりも完売。

自分達で作ったケーキは特別おいしかったそうです。



七夕

七夕にはそうめんがよく食べられます。

そうめんは織姫が得意だとされる機織りの白い糸に似ていることから七夕の日に食べるようになったそうです。また、七夕の日にはもともと素餅（さくべい）という小麦と米粉を混ぜて作られる中国の唐から来た菓子が食べられていました。この素餅がそうめんにも形を変えたともいわれています。

7月の旬の食材

きゅうり、なす、とうがん、ズッキーニ、オクラ、ピーマン、とうもろこし、トマト、スイカ、メロンなどの夏野菜が旬を迎えます。夏野菜は水分をたくさん含んでいるので体の火照りを冷ましてくれます。夏野菜はさっと食べやすいので、ご家庭でも取り入れてみてはいかがでしょうか。

🌻 7月の行事食 🌻

7/8、22（火）カミカミ給食

〔給食〕 ご飯、タンドリーチキン、
切り干し大根のマヨサラダ、
コンソメスープ、オレンジ

〔おやつ〕 さけおにぎり、小魚

7/7（月）七夕メニュー

〔給食〕 七夕ちらし寿司、鰯の磯部焼き、
天の川すまし汁、すいか

〔おやつ〕 七夕ココアプリン（星型クッキーのせ）

7/25（金）お誕生日会

〔昼食〕 食パン、カレイのフライ風、
コールスローサラダ、ミネストローネ
スープ、メロン

〔おやつ〕 お誕生日ケーキ（桃）

